

「高校生のための学びの基礎診断」への申請について

2021年 6月 30日

①事業者名	株式会社ベネッセコーポレーション				
②測定ツール名	GTEC Advancedタイプ・Basicタイプ・Coreタイプ				
③主な対象者	中学1年生～高校3年生				
④対象教科	国語	数学	英語	⑤測定内容の区分	基本タイプ
			○		○
⑥申請する測定ツールの目的・概要	実際の言語使用場面を前提とし、英語コミュニケーション能力を測定することを目的としたスコア型4技能検定です。授業で学んだ英語を「実際に使う」手ごたえを感じられる日本の中高校生に適した出題です。自分が登場人物になったつもりで取り組める問題も出題されており、受検そのものが英語を使った生活体験に感じられるように工夫しています。				
⑦申請する測定ツールの特長・活用例等	<p>◆特長1：技能別の英語力をスコア型の絶対評価で測定 技能別の英語運用力を絶対評価で示しますので、英語力の伸びを実感できます。継続的に受検することで、「過去の自分からどれだけ成長したか」を数値で把握できます。スコアは4技能のCEFRレベル別結果を確認することができます。</p> <p>◆特長2：日本の中高生の英語力を測るのに適した問題 授業で学んだ英語を「実際に使う」という手ごたえを感じられる出題です。また、背景知識に左右されないため、より正確に生徒の現在の英語力とその伸長がスコアに現れます。</p> <p>◆特長3（及び、活用例）：振り返りに役立つ充実したフィードバック 詳細な教師用帳票とスコアレポート（個人別成績票）により、次のご指導・学習のポイントが明確になります。また、生徒一人ひとりに音声付きの付属学習教材「スキルUPワーク」を提供します。</p> <p>活用例) 長期休暇前にテストを受検し、テスト結果に応じて、休暇中に、「スキルUPワーク」で自身の英語力を高めることが可能です。</p>				
⑧実施期間、年間実施回数	<p>◆検定としてのGTECは、年3回の実施日を予定しており、日程と受検できる問題タイプ等につきましては、下記の弊社GTECのウェブサイトからご確認いただける予定です。</p> <p>◆アセスメントとしてのGTECをご受検いただく場合は、どの問題タイプにおいても、問題内容は4月と10月に切り替え予定で、同じ問題タイプでも年に2回ご受検いただけます。</p>				
⑨実施方式 (CBT/PBT)	<p>「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の3技能は紙で、「話すこと」はタブレットでの実施となります。</p> <p>・2022年度以降には、一部のGTECの実施回において、スピーキングテストを各学校のデバイス（タブレットやコンピュータ）で実施いただけるよう、準備を進めています。</p>				
⑩試験時間(分)	国語	数学	英語		
			<p>◆Advanced/Basic：合計120分 聞くこと：約25分、読むこと：約45分 話すこと：約25分、書くこと：約25分</p> <p>◆Core：合計102分 聞くこと：約20分、読むこと：約32分 話すこと：約25分、書くこと：約25分</p>		
⑪受検料	<p>・検定としてのGTECをご受検いただく場合（4技能）：5,980円（10%税込）</p> <p>・アセスメントとしてのGTECをご受検いただく場合（4技能）：5,300円（10%税込）</p> <p>※受検料の変更がある場合は、随時、HP等で告知いたします。</p>				
⑫標準返却期間	答案弊社到着後、約1.5～2ヶ月				
⑬URL(事業者のHPにおける測定ツール紹介)	https://www.benesse.co.jp/gtec/fs/				